

国内のインターネット利用者は9400万人を超え、公序良俗に反する違法・有害情報が大幅に増えています。

日本における違法・有害情報の通報受付窓口

「インターネット・ホットライ

ンセンター」が発表した10年上半期の通報件数は約7万8千件。うち実際に違法・有害とされたのは約2万4千件で、昨年比70%も増加しました。通報をもとに検挙に至った事例も

多く、児童ポルノやわいせつ物の公然陳列、出会いサイト系の誘引行為、規制薬物の広告など、いずれも昨年より大幅増です。知的財産権の侵害や殺害と爆破の予告も増えました。

違法・有害情報の氾濫

これら情報は警察がサイト管理者らに削除依頼して80%近くが削除されましたが、残りはメールアドレス等の記載がなく連絡不能。海外とも連携しているのですが後を絶ちません。

防犯一口メモ